

科目名	新	社会学	担当者	服部 慶巨	部別		期間	通年	単位数	4
	旧	社会学								

【授業概要】

〔授業目的〕 人間は、一人で生きてゆくことの出来ない弱い存在である。故に、共同生活を営む者（仲間）が必要不可欠となる。また、社会生活は（必ずしも）自分の思い通りにゆくものではない。このような現実を、理論的・実践的に理解していきたい。
〔履修条件〕 特になし
〔授業方法〕 受講生自身も陥りがちな問題行動を例示し、講義する。教科書・参考書・プリント・板書を理解の助けとする。
〔評価方法〕 試験と平常点（出席状況、受講態度、小レポートなど）により、総合的な評価をする。試験は論述式で実施する。

【授業区分】

区分	授 業 内 容	区分	授 業 内 容
1	ガイダンス（講義の方針、展開方法、目標など）	16	問題行動の根源 行為と行動
2	状況（情況）判断	17	問題行動の根源 共感性の欠如と逆ギレ
3	社会（学）とは何か？	18	問題行動の根源 アノミーと犯罪
4	社会的動物としての人間 Double Happiness	19	問題行動の根源 人間関係とストレス
5	社会的動物としての人間 「人間」の本質	20	問題行動の根源 非日常性
6	Human Being（人間とは何か？）	21	問題行動の根源 価値判断と防衛機制
7	人間関係の諸相と構造 総論	22	問題行動の根源 放送局別「用語」取り扱い基準
8	人間関係の諸相と構造 地位（status）	23	社会意識と逸脱 常識（common sense）
9	人間関係の諸相と構造 役割（role）	24	社会意識と逸脱 規範的行為と逸脱
10	「らしさ」の培養 文化（culture）	25	実験演習
11	「らしさ」の培養 パーソナリティ（personality）	26	コミュニケーションと人間関係 総論
12	「らしさ」の培養 ジェンダー（gender）	27	実験演習
13	「らしさ」の培養 アイドル（idol）工学	28	コミュニケーションと人間関係 構造
14	実験演習	29	コミュニケーションと人間関係 原理
15	前半まとめ	30	コミュニケーションと人間関係 問題点とまとめ

【教科書】 追って指示する

【参考書】 追って指示する